



野菜ソムリエ部門で金賞を受賞した廣江美和子さん（左）と植谷佐江子さん、中央は福井理事長

（福井栄治理事長）では、
第3回「野菜ソムリエアワード」を開催し、5つの部門で入賞者を決定した。

日本野菜ソムリエ協会
部⾨には全国から600人
がエントリー。金賞の

今年の野菜ソムリエ No.1 に

なにわのコンビ「ベジフル Maman」

廣江美和子さんと植谷佐江子さん

野菜ソムリエ部門金賞には、大阪府で楽しみながら伝統野菜の普及などを行っている廣江美和子さんと植谷佐江子さんのコンビ「なにわの野菜ソムリエ ベジフル Maman」が選ばれた。

昨年は各部門で書類選考による予選を勝ち抜いたファイナリストが来場者を前にプレゼンテーションを行い、投票によって入賞者を決定したのに對し、今回は全国5ブロックの地区予選大会で選ばれたファイナリストがこの全国大会で一堂に会し、1年を振り返り活動内容のプレゼンテーション。来場者である野菜ソムリエの審査・投票で金銀、銅の入賞者を決めるもの。

そのうち野菜ソムリエ

を結成。

認定料理教室部門では

宮城県の石館志保子さんが金賞を受賞。「花野果村

リエ」と植谷さん（アクティブ野菜ソムリエ）は、野菜や果物を愛する気持ちと「みんなを食で幸せにしたい」との思いからコンビ

大阪を中心に全国の伝統野菜や特産品の紹介や果物だけを使ったフルコースを楽しむイベントなどを開催し、学びながら楽しみ伝える活動を展開。今後は「フードロスをなくし、未来に向けて各方面から食を考えること」をめざしている。

ト「すずこま」を使った被災地支援活動や賞味会を行い、縦と横つながりを大切に参加者増員につなげた活動などが評価された。

認定レストラン部門では、昨年も受賞した「ゆど森俱楽部けやき食堂」（宮城県）が金賞を受賞し、認定青果取扱店部門では入賞者を全員表彰。グリーンショップはらだ元木店（山形県など6店舗）が受賞した。



大会後の交流会では全国の野菜ソムリエが親睦を深めた

野菜ソムリエ部門で金賞を受賞した廣江美和子さん（左）と植谷佐江子さん、中央は福井理事長

続いて行われた、各地の野菜ソムリエが自主的に行うコミュニティ活動を行なう「コミュニティ部門」では、元祖コミュニティみやぎ野菜ソムリエの会が金賞に。東北生まれの調理用トマトが受賞した。